

西多摩保健所感染症週報

東京都西多摩保健所
Tel 0428-22-6141

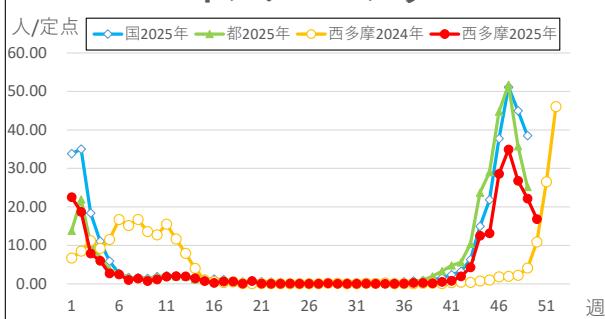
管内の発生動向及び定点把握対象疾患

- 全数届出の疾患は、レジオネラ症1件（男性、70代）、百日咳1件（女性、50代）の報告がありました。
- 定点報告は、新型コロナウイルス感染症0.86（0.50）、咽頭結膜熱0.13（0.00）、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎3.13（2.13）で、前週より増加しています。

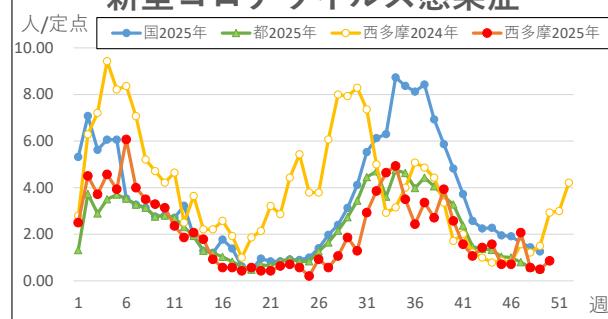
管内の感染症集団発生状況

- インフルエンザ4件（保育所）、疥癬1件（医療機関）の報告がありました。

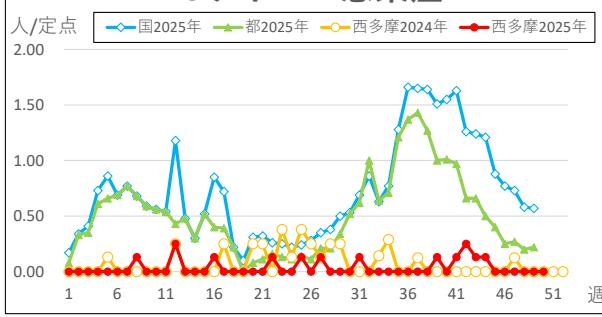
インフルエンザ



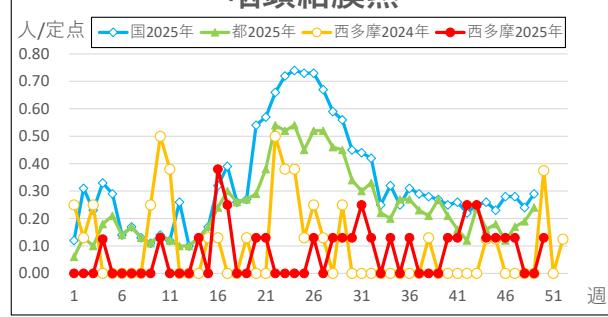
新型コロナウイルス感染症



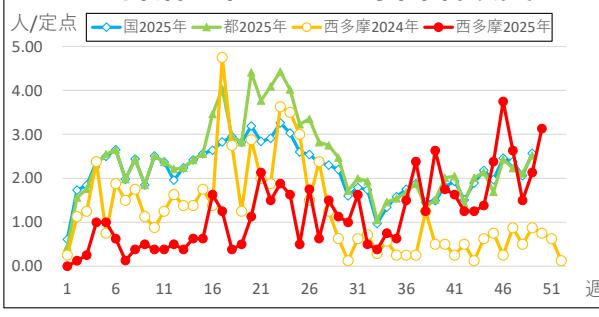
RSウイルス感染症



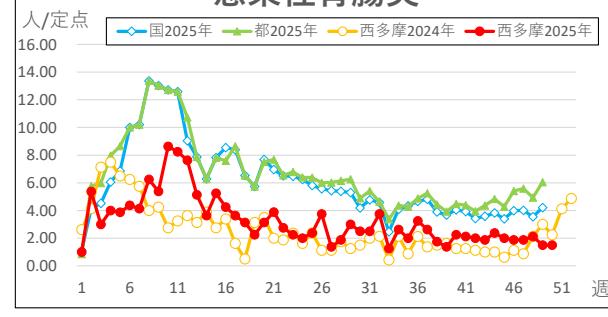
咽頭結膜熱



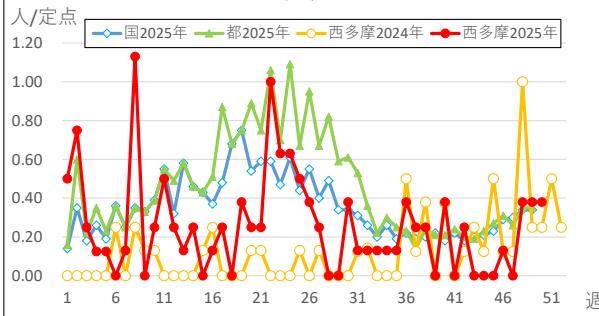
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎



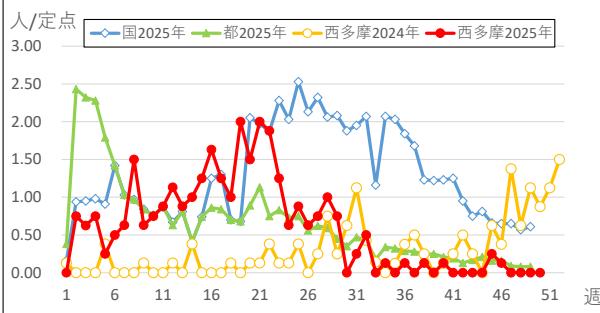
水痘



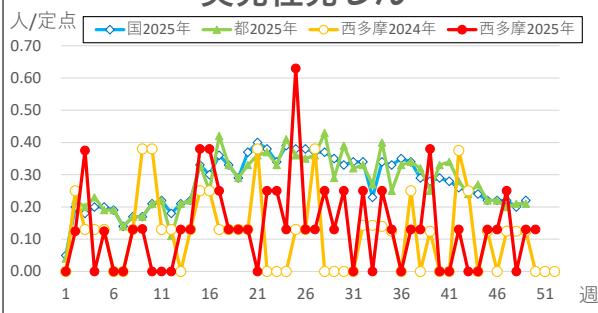
手足口病



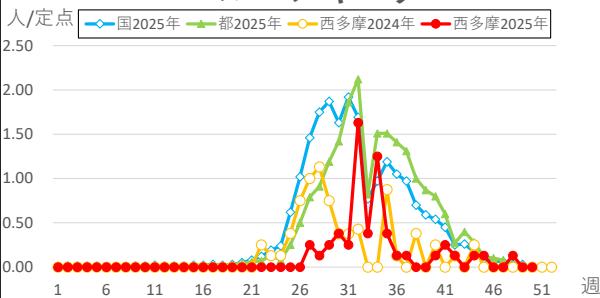
伝染性紅斑



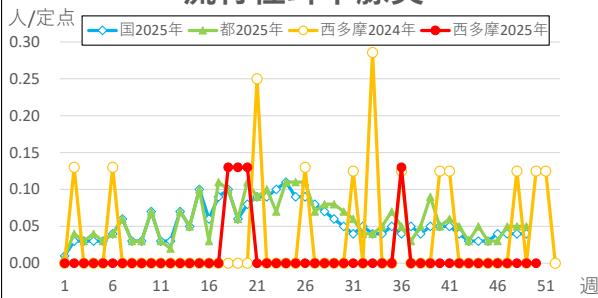
突発性発しん



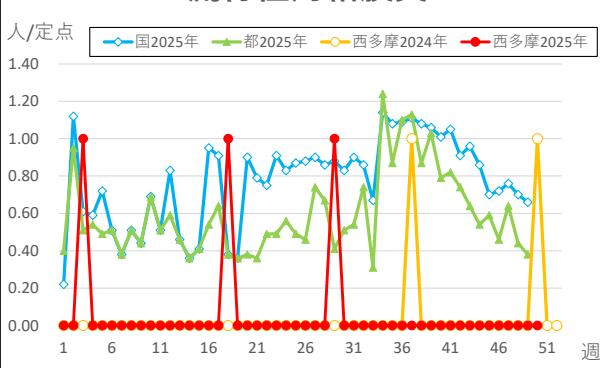
ヘルパンギーナ



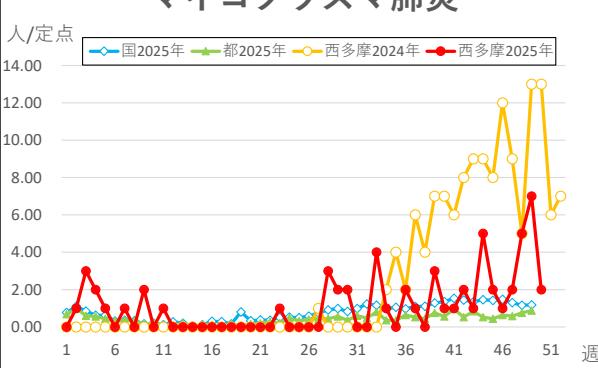
流行性耳下腺炎



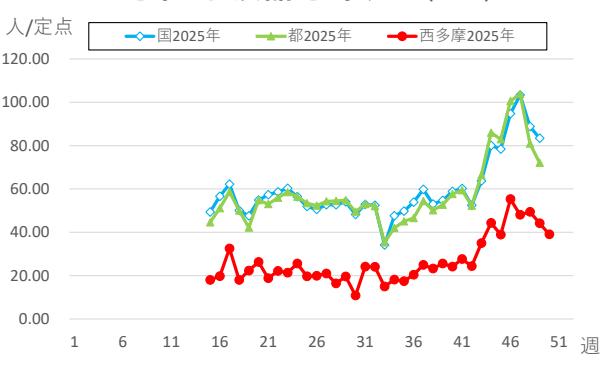
流行性角結膜炎



マイコプラズマ肺炎



急性呼吸器感染症 (ARI)



今週のトピックス

～麻しん～

全国では、44週以降発生報告が増加しています。東京都では、36週以降しばらく報告がありませんでしたが、48週・49週と1例ずつ報告がありました。

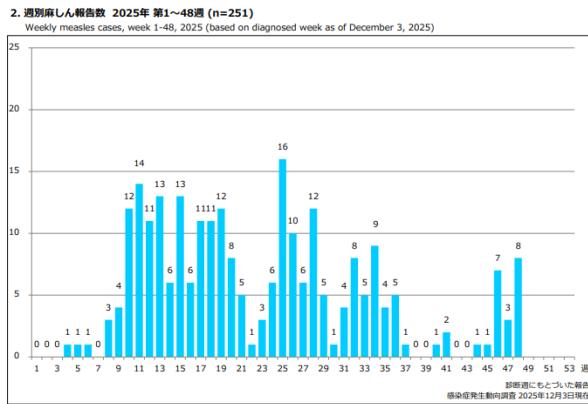
※国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト

<https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/meas25-48.pdf>

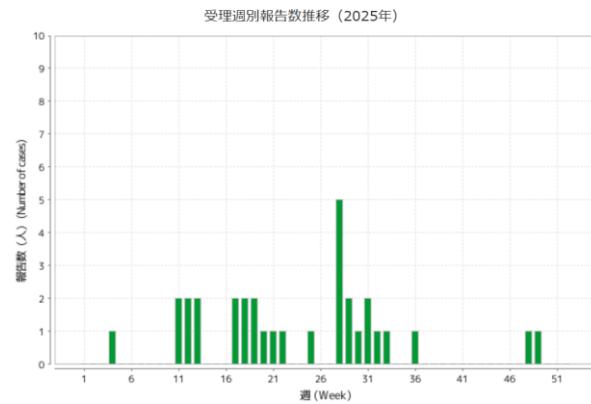
現在、西多摩管内で報告はありませんが、都内で報告が出ています。麻しんは非常に感染力が高いです。

年末年始は帰省や旅行など、人の移動があるため感染予防を心掛けましょう！

国



都



どのような病気ですか？

感染力が極めて高く、麻しんに対する免疫を持っていない人が、感染している人に接するとほぼ100%感染します。約10～12日の潜伏期間の後、38℃程度の発熱及び風邪症状が2～4日続き、その後39℃以上の高熱とともに発疹が出現します。おもな症状は発熱、発疹の他、咳、鼻水、目の充血などです。合併症として、肺炎、中耳炎、稀に脳炎、失明があり、肺炎や脳炎は重症化すると死亡することもあります。特別な治療は無く、対症療法が行われます。一度感染して発症すると、生涯免疫が持続すると言われています。

どのようにうつりますか？

ウイルスによる感染症です。空気感染が主たる感染経路ですが、飛沫感染、接触感染もあります。

どのように予防できますか？

有効な予防法は、ワクチン接種です。定期接種は、麻しん・風しん混合ワクチン（MRワクチン）を1期（1歳の1年間）と2期（5歳から7歳未満で小学校就学前1年間）の期間に2回接種です。

～気を付けましょう～

① 海外へ行く前に

麻しんの予防接種歴を母子手帳等で確認しましょう。定期予防接種を受けていない方は、接種を検討ください。

② 帰国後2週間は

発熱や全身の発疹、咳、鼻水、目の充血などの症状に注意しましょう。

ただし、予防接種をしている場合は症状が軽い場合もあります。

※東京都感染症情報センター 「麻しんの流行状況」

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/measles/measles/>

※厚生労働省「麻しんについて」

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html



～ 感染性胃腸炎 ～

どのような病気ですか？

例年多くなってくる時期ですので、感染予防を心掛けましょう。

毎年秋から冬にかけて流行します。細菌やウイルス等の病原体による感染症で、潜伏期間は1～3日程度です。

ノロウイルスによる胃腸炎は、主な症状は吐き気、下痢、発熱、腹痛で、小児では嘔吐、成人では下痢が多いです。有症状の期間は平均24～48時間です。ロタウイルスによる胃腸炎では、嘔吐、下痢、発熱がみられ、乳児ではけいれんを起こすこともあります。有症状の期間は5～6日です。

特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法が行われます。感染しても発症しない場合や、軽い風邪のような症状の場合もあります。

どのようにうつりますか？

病原体が付着した手で口に触れることによる感染（飛沫感染）と、汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）があります。



～感染予防のために家庭でできること～

① こまめな手洗い・消毒

調理、食事の前、トイレの後には、石けんと流水で十分に手洗いをしましょう。また、便や嘔吐物は使い捨て手袋、マスク等を着用して処理し、次亜塩素酸ナトリウムで消毒しましょう。

② 食品の加熱・調理

食品を十分に加熱し、特に二枚貝などは中心部まで十分に加熱しましょう。野菜等の生鮮食品は水道水でよく洗いましょう。

※東京都感染症情報センター「感染性胃腸炎の流行状況」

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/gastro/gastro/>

※東京都「家庭でできるノロウイルス対策」

https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/pamphlet2/files/noro_tomin.pdf



直近8週間の西多摩保健所管内定点医療機関報告数（定点当たり）

| | 43週 | 44週 | 45週 | 46週 | 47週 | 48週 | 49週 | 50週 | 1週目からの累計 |
|-----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------------|----------|
| インフルエンザ | 60 | 175 | 184 | 400 | 489 | 375 | 310 | 235 (16.79) | 3,150 |
| 新型コロナウイルス感染症 | 20 | 22 | 10 | 10 | 29 | 8 | 7 | 12 (0.86) | 1,388 |
| RSウイルス感染症 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 (0.00) | 14 |
| 咽頭結膜熱 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 (0.13) | 29 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 10 | 11 | 19 | 30 | 21 | 12 | 17 | 25 (3.13) | 471 |
| 感染性胃腸炎 | 15 | 19 | 16 | 15 | 15 | 17 | 12 | 12 (1.50) | 1,257 |
| 水痘（みずぼうそう） | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 3 | 3 (0.38) | 99 |
| 手足口病 | 0 | 3 | 2 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 (0.00) | 34 |
| 伝染性紅斑 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 (0.00) | 237 |
| 突発性発しん | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | 1 (0.13) | 52 |
| ヘルパンギーナ | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 (0.00) | 39 |
| 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 (0.00) | 4 |
| 流行性角結膜炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 (0.00) | 3 |
| マイコプラズマ肺炎 | 1 | 5 | 2 | 1 | 2 | 5 | 7 | 2 (2.00) | 59 |
| 急性呼吸器感染症（ARI） | 490 | 621 | 545 | 774 | 672 | 692 | 618 | 547 (39.07) | 13,742 |

急性呼吸器感染症（ARI）は15週目からの累計

- グラフは、5類定点把握対象疾患についての推移を表しています。グラフ縦軸の目盛は定点あたりの患者報告数です。
- 管内定点医療機関数は、小児科定点8、内科定点6、眼科定点1、基幹定点1となっています。
- 毎週の患者報告数は、管内の定点医療機関から毎週月曜日に報告を受け、週報として木曜日に発行いたします。
- データの出典元は、下記のとおりです。国及び都のデータは1週間遅れで掲載しております。

〈出典〉 東京都、西多摩保健所のデータ：東京都感染症情報センター <https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
国データ：国立健康危機管理研究機構（JIHS） <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>